

## 代表挨拶 柳原 和歌子会員

「誕生日のお祝いありがとうございます。  
心は永遠の35歳で、これからもがんばります」



## ロータリーの友 解説

### ■広報・ICT委員会 委員長 菊池 裕一 (横組) P.3 R I会長メッセージ

ロータリー財団月間の11月は、寄付を行うだけではなく、寄付をする理由についても考えて頂きたいと思っています。今月は、感謝の気持ち、喜び、希望を寄付という形で表しましょう。

### P.5 インターアクター

#### 未来への羅針盤

世界интерна́тори́стический週間の記事です。大阪・関西万博にて、第2660地区のインターラクターロータリークラブの代表が「人権と平和」についてプレゼンを行いました。

#### P.20 ポリオ根絶、ビルゲイツ財団について

ゲイツ財団は、設立から25年間で1000億ドル以上を拠出してきました。ポリオ根絶は依然として最優先課題です。国際ロータリーとゲイツ財団は、今後3年間で最大4億5000万ドルの資金調達を継続して、その1ドルごとにゲイツ財団が2ドルの上乗せをする形で資金を拠出します。

(縦組) P.14 齋藤敏雄会員の記事が出ておりましたので紹介をします

「第2期ローターアクトの船出」、7月14日、大宮西ローターアクトクラブ(R A C)の第1回例会の開催を告げる、点鐘の音が鳴り響いた……。大宮西R C一同、この時を何よりも心待ちにしていた。当クラブ会員で、地区ローターアクト特別推進委員長を務める内山泰成氏に至っては、日を潤ませている。そもそも大宮西R A Cは1971年に誕生(当初は埼玉整学R A Cとして結成し、その後名称変更)したが、会員の減少などにより、2001年にひっそりと解散。内山氏はかつてそのクラブに所属していましただけに、感慨もひとしおだったのだろう。復活のきっかけは前年度、地区青少年部門から独立してローターアクト特別推進委員会が設置されたこと。その活動の一環としてクラブ創設が奨励され、大宮西R Cに白羽の矢が立てられた。しかし、解散の過去があるために、クラブ内では賛否で意見が割れた。そんな中、今年度のクラブ会長を務める横溝一樹氏から「ぜひとも挑戦してみたい」と熱意ある声が上がったことで、クラブは一丸となり、各会員とも協力が得られそうな大学や地域コミュニティーなどに赴き、声掛けに奔走。ついに、創立にこぎ着けることができた。そしてこの日、初例会を迎える、第2期大宮西R A C創立会員9人の船出をその目でじかに見ようと、多くのロータリー会員が出席。かつての苦い経験を思い出すことよりも、むしろ、若い人たちを応援する喜び、若い人たちの挑戦を見守る感動を肌で感じられる機会となつた。

とても良い記事だと思います。

## テーブルディスカッション

### 新規地域社会奉仕事業の方向性について



管理運営委員会 委員長  
**小林 政良**



社会奉仕委員会 委員長  
**金 福漢**



## スマイル報告

### ■副SAA お手伝い 小林訓子

進行は、副SAA 吉田 浩士  
が務めました



## 出席報告

### ■出席委員会 委員長 新藤 栄介

